j		学校目標 経営力計 文化の香りがする懐が深い進学校							甲府第一高等学校校長 安達 徹	
		1 おもろい私:主体的に学ぶ生徒,知識を創造のために活用する生徒,考え	を表現する生徒 山梨県学校教育指導重点 「確かな学力の育成」				A ほぼ達成できた。(8割以上)	4	良くできている。	
	本年			は体の育	成」	達成		3	できている。	
	重点	目標 3 やわらかい私:複眼的視点を持った生徒・他者と協働できる生徒・状況	に即して自己変容できる生徒 山梨県学校教育指導重点 「地域や世界で活躍できる人材の	り育成」		度		2	あまりできていない。	
		4 働き方改革:教員の働き方改革の推進					D 達成できなかった。(4割以下)	1	できていない。	
		n 2 # # #							学校関係者評価	
	**	11 1 55 17 25 30 30 30	本年度の筆品目標   年度末評価(参加5年2月9日現在)						実施日(令和5年2月14日)	
	「②【る③【の【策【【際】】・②【⑤【え【時⑥】	○ 一般のでは、一	自己海極結果 「教育」3製点別評価に向けて、学校全体で評価方法を確認した。各教科・科目ごとの評価の エ大名。全体では有・規模させていなさい。 「生活環境が変更が満転で高を受け、大わた男けで自らの考えを深め、文章をつ には国境が変更が満転で高を終していませい。 「生活環境が変更が満転で高を終していませい。 「生活環境が変更が満転で高を終していませい。 「生活環境が変更が満転で高をは一部時間が表に用していく、 「生活環境が変更が高い。 「生活環境が高いませい。 「生活環境が高いませい。 「生活環境が高いませい。 「生活環境が高いませい。 「生活環境が高いませい。 「生態の保持機能によれられる。 「生態の保持機能によれられる。」 「生態の保持機能によれられる。」 「生態の保持機能によれられる。」 「生態の保持機能になった。 「生態の保持機能になった。」 「生態の保持機能は、 「生態の保持機能は、 「大きないます。 「ないます。 「ない	速成度	る生今は、Bandadadadadadadadadadadadadadadadadadad	が境徒尊川た淡必伝と眼充 真る雀 究縁基方で人生生自生が11日。健要統分才実 面よ異 評交礎家いか徒徒自生が14日。健要統分才実 面よ異 評交礎家いか徒途の	が、ロコナ福で登切れてしまっている面もある。来年度は割約も少なので、より生徒の自主性自宜心を高かている心を発っているので、より生なの自主性自宜心を高かていると考えが必要であ ープンスケールや強行選足などの様子、探究活動の内容等を掲載 以ための自用す予定である。中は実験を増やす工夫が必要であ 目ではあるが、新しいことを創造したり、ユーモアを取り入れて表現 な概念・機能を構ませたい。 ダ化電影と国際で流の増進という点では理想的な行事が行えなか 価の方法が教員の負担になるないように工夫していくために、教料 接をしている姿をがある。 基本の上に実展・仮用を精み上げ、次年度、片巻も越していくべき提覧 基本の上に実展・仮用を精み上げ、次年度、片巻も越していくべき設置 是入りもあるりでいくにと、声掛け、京生生後は参りるので、続	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	学び考え、発信するということを大切に取り組んで いる。その成果が編集として表れている。 学校持備アンケート解集から、次の点の改善が必 実である。定義の評価指摘の行成は100%では71 11年、12年の青少年が経過から変形を含むいました。 (中国には70年である。12年では70年では70年では70年では70年では70年では70年では70年では70	
	(近し【の②【・③【思能【ル発達 て学派所体協画探すプ深な問題を	・・・リアデザインの接等 開車等・ドー・インアルブラン(ORP)・基階溝降会及び「総合的な探究の時間」を基 開車等・ドー・インアルブラン(ORP)・基階溝降会及び「総合的な探究の時間」を基 電子アプリー・インアルで、大型で、大型で、大型で、大型で、大型で、大型で、大型で、大型で、大型で、大型	・ 一般の表示を対している。	В	の生いば知代要生ではてばめてはなり受ける。 業生で進を保が徒生物い究はないには、1受2多な 活、路徹健的徒徒務る究はのには、1を強健かや 発環集指慮相る会の広状科生推。い振習】見】た。	な覚会導し後。一評釈況意徒生学と興慣欠据ロ。総ど交の令積ウ(高価物は欲いま習カコに席を、ナ無合	学校下届に上く教育的別生と同時に、学者や部語を上の周立、歌声のから、シスト教の、日春子窓の工・登皇に発かた。 通安全、財政、Siv等に「推薦問題のトラブル的社・は総成人等につ 道安全、財政、Siv等に「推薦問題のトラブル的社・は総成人等につ 記を中部中央、主理理道通信を下発し、重複等を受ける。 後もこの教態を維持してくためにホームルームを通じて生徒への囲 機動の参加を受けて、継続的に感染を予防対策を撤走させる。 多や異角会活動について、充分な狂し念いが行われているという点 が少し低かった。文年度はこのことを意識したい。 個画展の行、変生とコー・中生後の支柱自等の多くの値上げが設さいかんとし、類い、生徒の家庭の接受部からのである。 いかんとし、類い、生徒の家庭の接受部から必ずた、別れて最の快趣になっ というなと性時々に、外部の息息を機関にうのみトレしてよう特別の下しまで、 といる生徒時々は、外部の息息を機関にうのみトレしてよう特別の下した生徒時々に、外部の息息を機関についるいる要がある。 といる生徒時々に、外部の息息を機関につのかトレしてよう特別の下した生徒時々に関している。 といる生徒時々に、日本の自然であるが、日本における個人が と生徒が自覚できるように、明様に伝えていく必要がある。 といる生徒時々に、日本の自然であるが、日本における個人が と生徒が自覚できるように、明様に伝えていく必要がある。 といる生徒時々に、小年の息を軽く回りに対している。 といる生徒が多く、その理由も「それだけで?」というものが多かった。 であるの社会人になったとしてが開発を育てたい、少、体観が悪いとすぐ体へでいる場合を発しているといる。 であるとの社会人になったとしているでは、日本の事をからない。 であるの社会人になったとしているでは、日本の事をからない。 であるの社会人になったとしているでは、日本の事をからない。 でのために、少、体観が見いているでは、日本の事をからない。 でのために、少、体観が見いているでは、日本の事をからない。 でのために、少、体観が見いているでは、 でのために、少、体観が見いているでは、 では、日本の事をからない。 では、日本の事をからな	8 1 5 1 4 4 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	学校評価アンケー特殊を持ら、次の点の書が必 変である。カーナリア、スポートの影用でいたで観り 東の着定率の味が気になる。活用するためには、さ らに工夫・検討や要である。「哲学度」については、 からに工夫・検討や要である。「哲学度」については、 が場けのがは、「数字共和の置きで教職の評価 が低いのが気になる。アンケーの評価に高した。 *場行道とこいては、アンケートの評価に高しました。 *場行道とこいでは、アンケートの評価に高しました。 *場では、アンケートでは、これでは、 *学校評価から三者、後継載、データを選出すること *学校評価から三者、後継載、データを選出すること *学校評価から三者、後継載、データを選出すること *学校評価から三者、後継載、データを選出されている。 が要求である。 *学校評価から三者、後継載、より選言されている。 *ジャである。「同時に、奇化等はより選言されている。 *ジャである。「時にある」を「海上大きな な原果を上げたと表える。」と、「最近と、「海に乗りま」となった。 な原果を上げたと表える。	
	生 に 2 進 各 頭 生 に 削 探 。 学 九 握	いの方法に向けた最初の推塞 に認力という。 は一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、1985を含めたにて、 の情報を採用して、多年な価値数を認める心の意質に対める。特に、5MSを含めたにて の情報を採用して、ので表えせる機能を認める心の意質に対める。特に、5MSを含めたにて の情報を採用している。 では、対している。 では、対している。 はままたに放射に関係のパネラン・4アで表めた実施 はままたに放射に関係のパネラン・4アで表めた実施 はままたに放射に関係のパネラン・4アで表めたまた。 を対し、オラン・カイアボートの運転の機能を上げ、生態のが、が情報的にボラン・オータ を対し、オラン・カイアボートの運転の機能を上げ、生態のが、が情報的にボラン・オータ を対し、オーターカイディートの運転の機能を上げ、生態のが、が情報的に対し、 を対し、オーターカイン・1のでは、 を対し、は、 を対し、 を対し、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では	(発売)上接の主体性・協動性を相ばすれるが、各度的が工夫・売削していることがアンケーから混る。。 連続課題の公平性いっても数すれる世帯をある。(生活理想を関する。 では、 は、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 で	В	授生年【度【関こ【を経事技術となる。 とのでは、「いまれば、「ないない」となり、「ないないないないないないないないないないないないないないないないないないない	<b>・境【『尊教贤室要生』と暇感グっ進計究とコを他が特生保】や生値生まを徒が強じいて部画総サニスとるない。</b>	業室の使用を制限していることから、ホランデイオートの更新機関 「他」の一た、来年の登録としたい。 「いる」では、一つ、スタールの連手を している。 一つ、の課気活動を基して協議することを学んでいるが、グループ・ を対している。 は、これが、またいでは、またいでは、またいでは、 は、またいでは、またいでは、 は、またいでは、またいでは、 は、またいでは、またいでは、 は、またいでは、またいでは、 は、またいでは、またいでは、 は、またいでは、またいでは、 は、またいでは、またいでは、 は、またいでは、またいでは、 は、またいでは、またいでは、 は、またいでは、またいでは、 は、またいでは、またいでは、 は、またいでは、またいでは、 は、またいでは、またいでは、 は、またいでは、またいでは、 は、またいでは、またいでは、またいでは、 は、またいでは、またいでは、 は、またいでは、またいでは、またいでは、 は、またいでは、 は	で : : : : : : : : : : : : :	・	
	【や【銭②・縮数担進学	原時間に健康管理を登譲した総合方な高の推進 理論・熱時間の管理と荷りな影響的の設定を行う。 健相談・入れレスチェックと暗場アンケートの分析と結果をもした、健康被害の防止 健和観り、ストレスチェックといるでは、一般では一般では一般では一般では一般である。 は、一般では一般と提出する。 は、大学の一般では一般では一般である。 は、大学の一般である。 は、大学の一般では、大学の一般では、大学の一般では、大学の一般では、大学の一般では、大学の一般では、大学の一般では、大学の一般では、大学の一般では、大学の一般である。 は、大学の一般である。 は、大学の一般では	「数約」事の意報において、業務の選正化・効率化を意識している。他の分章との連携や 場所での労働と利用されていた。 性系に環境計算器室の他のにより、ワックス差が作業場所の一部やは学モッブのツリーニング 作業を対土はでき、負担程減を起いた。 は、現代を表した。 は、日本のでは	В	【生主進重【滅【ま【れ【れ【な【率【る【が【を生任建実保を生む総る探面探。等人体。学、学特活を路性健日徒た務。究も究。 習く育・か年つ人護曹指を相推会。広、科あ推、研周振、手え】	境い事検験す特 椒 学る生 究知則 受っ敗ニ膨生す言語健。に 業 科・来 外で事 ブ負のとな	前に近い歌音言動が長ってきた中で、来年度に向けて行事の見直し が開発しています。 技術等で表面係に環境実化・防災関係の業務を整理し、双方に到 を記書が表す。 を記書が表する。 を記書が表する。 を記書が表する。 一高祭前は遅くまで残らなければならず、長い時間外動務になって、 務の効率化を増進するとともに、全体の業務量を減らすことが実め 内で企画・運営しなければならない行事等を参数り、負担の程序が 様度的新し、事業に取り組むにあたり、さらに効率化を固合の要が 都からの研修変内や生使用コンールの事業集内をである形式 がいたの子が表現りませ、 部のの手に変更がある。 部の一部である。 部の一部である。 第200年に、 200年に 200年に	至 しら あ あ り	理題点としては次の点が挙げられる。(京教職員アンデード時間外最終の施設を実施を登画している。」の肯定  才部に実効的に機ち方なまを改画している。」の肯定  本が前年度があから79%と65%とある。(京教職員アンプート (は、知事や工工が求められる。(京教職員アンプート (は、たが他からまか、教職員が変形があり、記が書きない。)  「は、たが他からまか、教職員が変形があり、記が書きない。」  「ないとかなりに著与している。」の肯定者が前年度85%から、 「カリルをかなりに対している。」の「大学に任意物職」を対している。」の「大学は大大学員」、いない。一般である。  「おいま」に、大学員が、「おいま」で、学校に任意物職・デンプート・「一般の対し、対している。」(有定平39%)には、注目するか変がある。前期のアンペート・一般を対し、はないことになった。その変がある。前期のアンペート  「大学」では、「ないまない」と、「ない、大学のである。  「カストライント」で、「大学、大学、大学、大学、大学、大学、大学、大学、大学、大学、大学、大学、大学、大	